

(5) 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 当事業年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月1日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。なお、適用初年度の為前年度の数値は記載していない。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

取得価額により評価している。

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産…定率法によっている。

無形固定資産…定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末要支給額のうち、札幌市中小企業従業員等退職金共済支給額を除く額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理方法は、税込方式によっている。

(6) リース取引の処理方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引においては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	233,516,710	24,299,665	27,644,460	230,171,915
減価償却引当資産	23,278,449	6,421,068	0	29,699,517
小 計	256,795,159	30,720,733	27,644,460	259,871,432
合 計	266,795,159	30,720,733	27,644,460	269,871,432

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産	10,000,000	(5,000,000)	(5,000,000)	—
小 計	10,000,000	(5,000,000)	(5,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	230,171,915	—	(0)	(230,171,915)
減価償却引当資産	29,699,517	(0)	(29,699,517)	—
小 計	259,871,432	(0)	(29,699,517)	(230,171,915)
合 計	269,871,432	(5,000,000)	(34,699,517)	(230,171,915)

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	672,000	89,376	582,624
工具器具及び備品	11,406,660	7,133,799	4,272,861
リース資産	3,630,060	302,505	3,327,555
ソフトウェア	33,300,802	22,476,342	10,824,460
合 計	49,009,522	30,002,022	19,007,500

6. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
札幌市平成24年度第12回公募公債	9,999,000	9,978,000	△ 21,000
札幌市平成21年度第8回公募公債	299,940,000	301,410,000	1,470,000
合 計	309,939,000	311,388,000	1,449,000

7. 貸借対照表に関する注記

実施事業資産はない。